



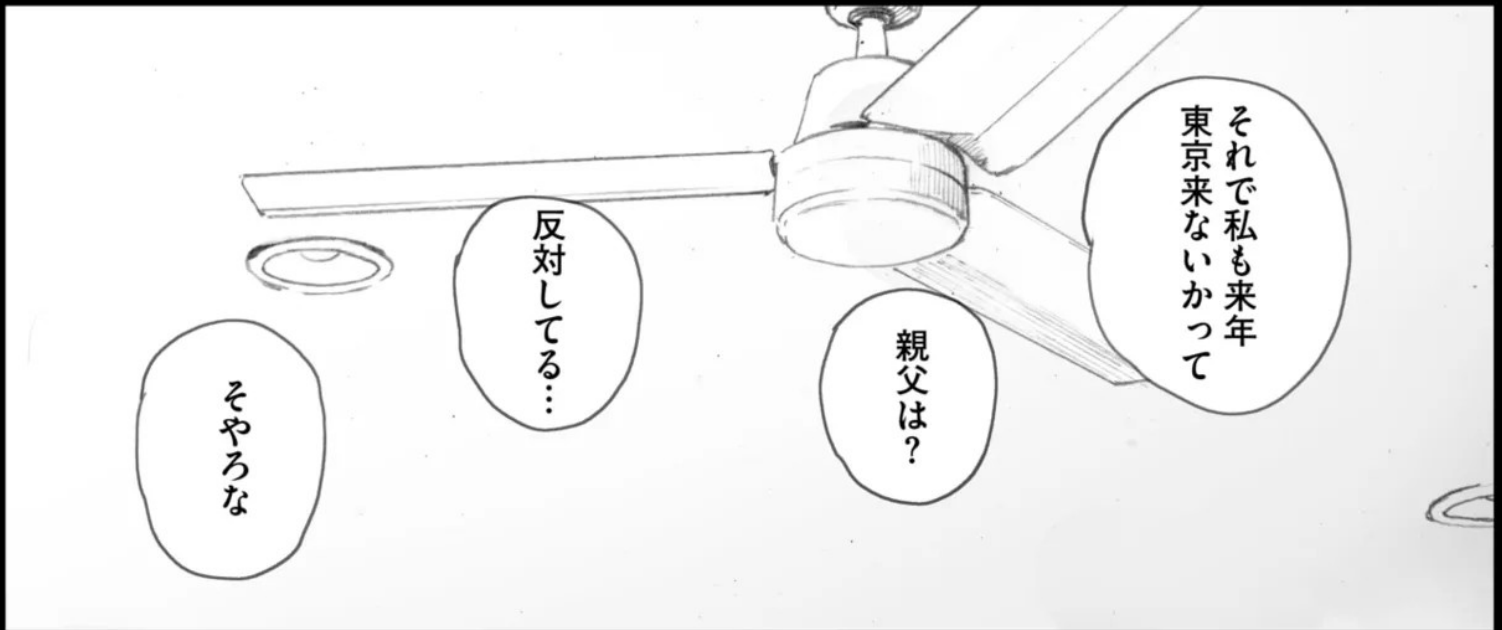


あのね
ヒロくん今 東京で
モデルの仕事
やってんの

学校留年して…
それで



連絡したらまた
お兄ちゃんに迷惑
かけそうで…



それで私も来年
東京来ないかって

親父は？

反対してる…

そやろな



あれから
どうなんや？
弘樹とは



お…

お兄ちゃん
はどう思う？



うん 大丈夫
優しくして
くれてるよ



そうか



兄貴としては
そんだけや



だったらまつりの
好きにしたらええん
ちゃうか？



俺たちは普通の兄妹に
戻ったんや

秋桜が咲いた日に

コスモス

Kosmos ga saita hi ni



荒井啓

第5話



うんっ

ただいま！
ヒロくん



おっまつり

おかえりー









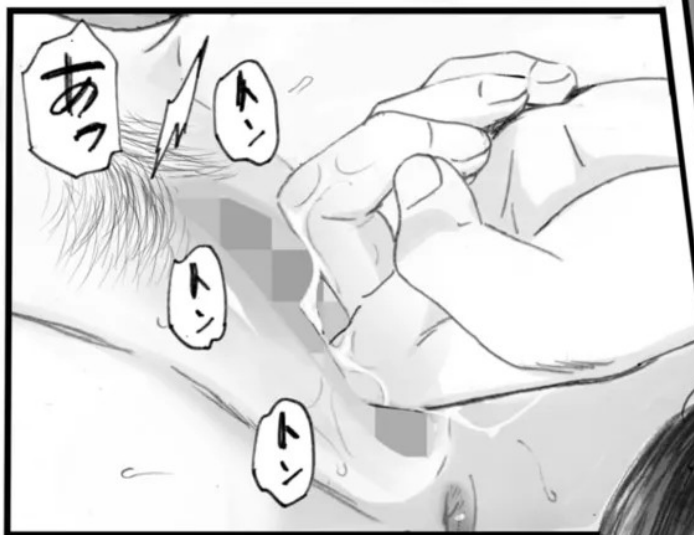
そんなの後で
いいからさ

くちゅ



でもご飯の準備も
しなきゃだし...

ズル...



あッ

トン

トン

トン

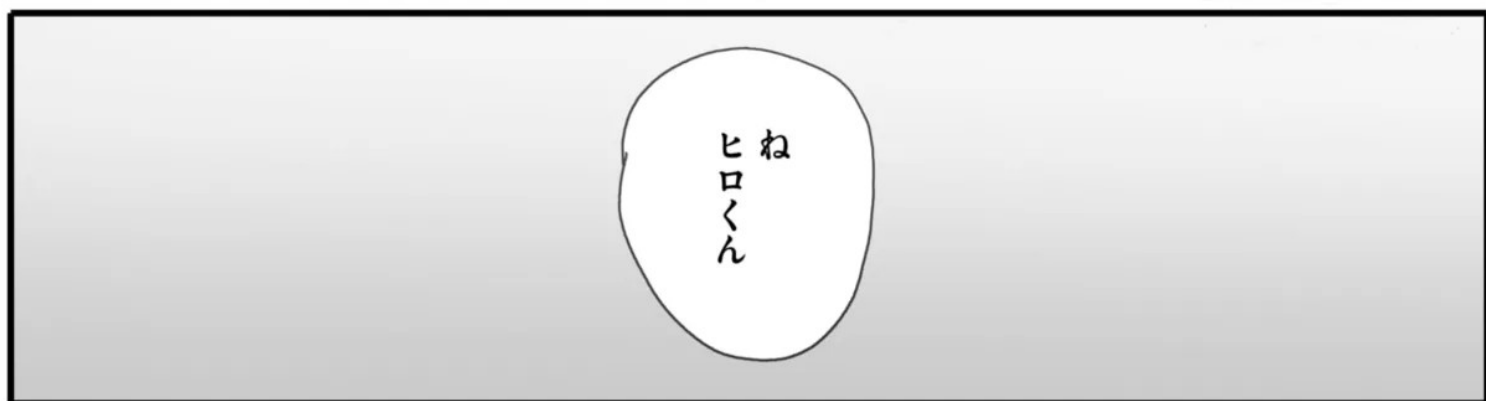


ト...



にゃあ
にゃあ

ほら見ろよ
お前だってもう
濡れてんじゃん





何言ってるの
あたりまえだろ？



俺の役に立ちたくて
わざわざこっちに
来たんだろ？



ふい
え

ふい
え

キゅッ
ッ

お前こそ
もう俺以外に
男作んじゃねーぞ！



は

キゅッ
ッ

お前は

俺の物だからな

あ？

前みたいに俺から離れようとするならこの舌ちよん切っちゃまうぞ！

かっ

くっ

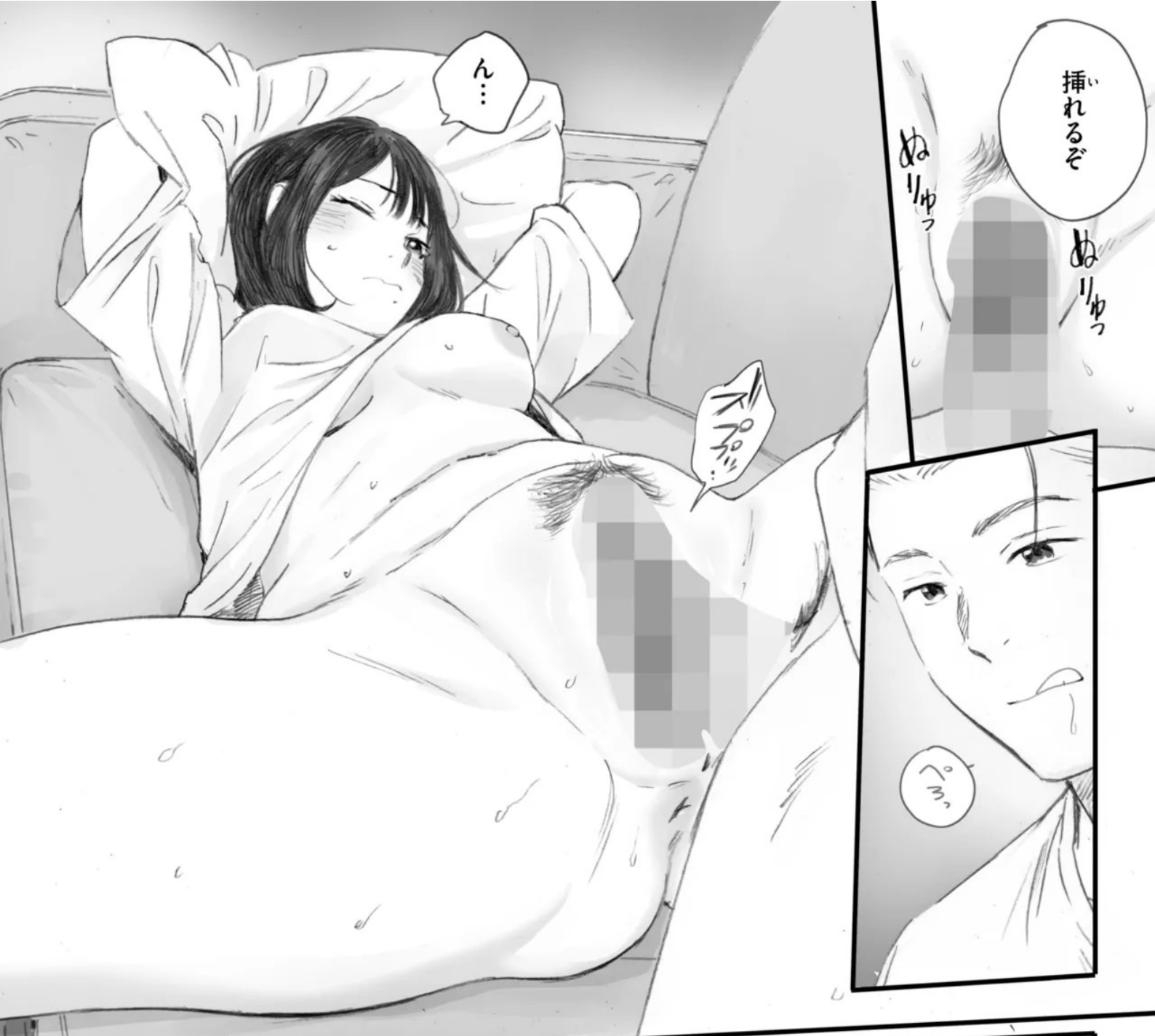
わ…
わかってる

ん？

ん…

れちま
れちま

れちま











だから頼むぜ
これからも俺の力に
なってくれよな？

おっ
あ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ

んっ...

ヒロくんが想って
くれるなら
私...

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

んっ



いくぞ
まつり!

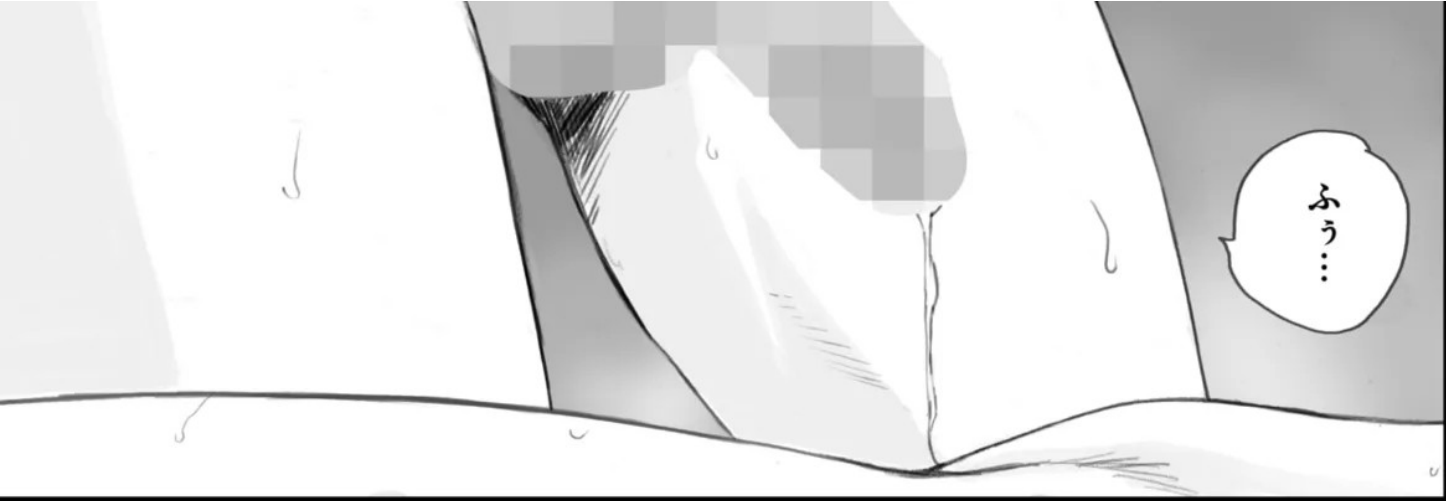
!!

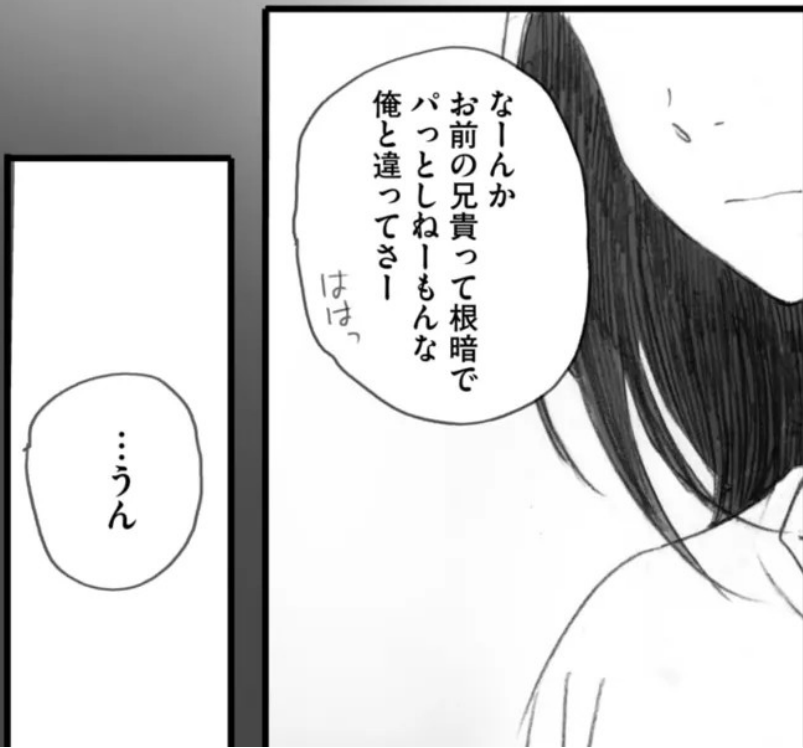
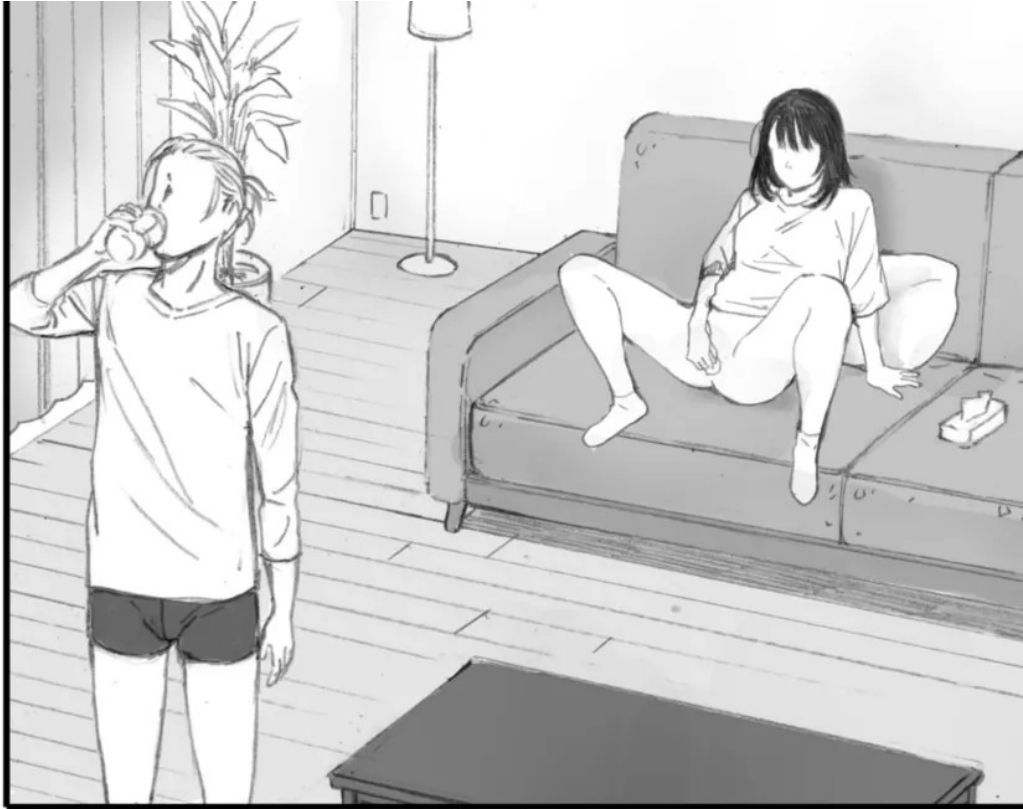
!!

あ...

!!

!!







ヒロくんから
見ると
お兄ちゃん
は
そうかも



いつもムスツ
してるけど…
でも昔は
そうじゃなかつた



お母さんが
死んでからなの



いつも何かを我慢
してるみたいな
表情になったのは

忙しいお父さんの
代わりにずっと
お母さんの看病して
成績下がって
お父さんに
叱られても
黙って我慢してた



喧嘩になって
私が怖い思い
しないように

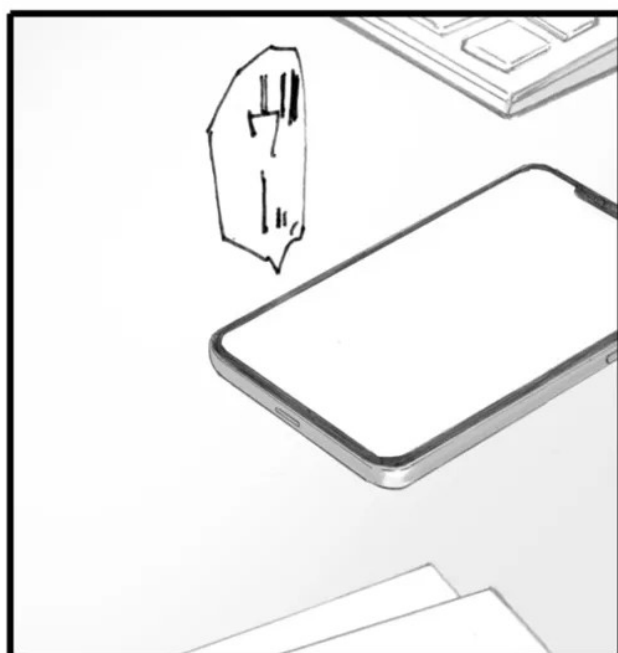


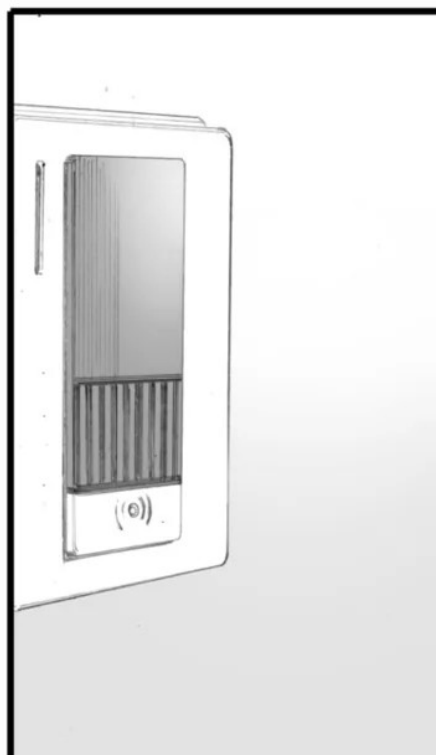


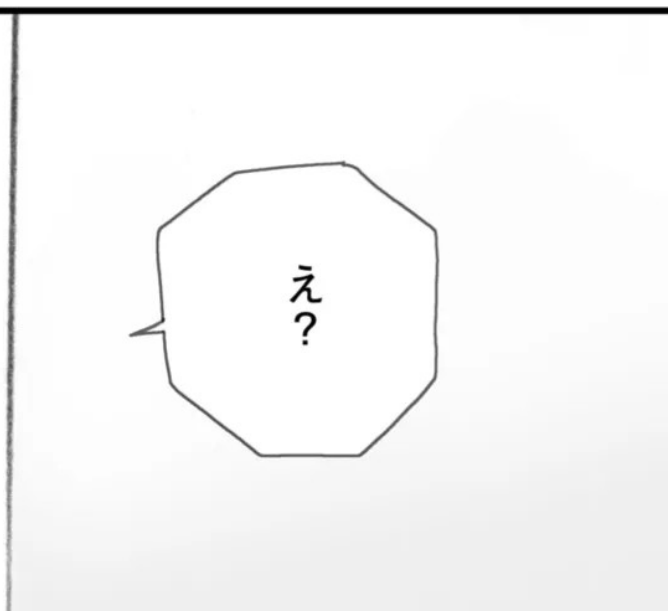
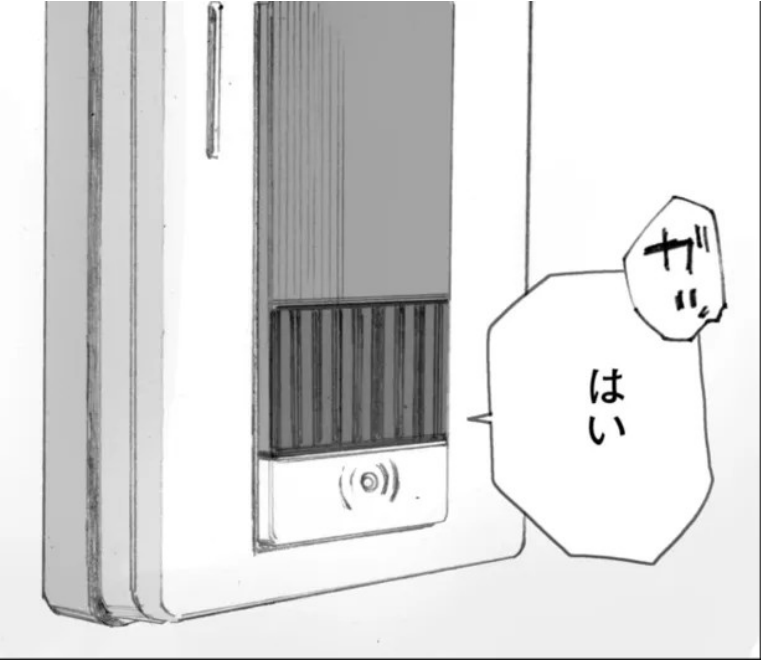
あのね…

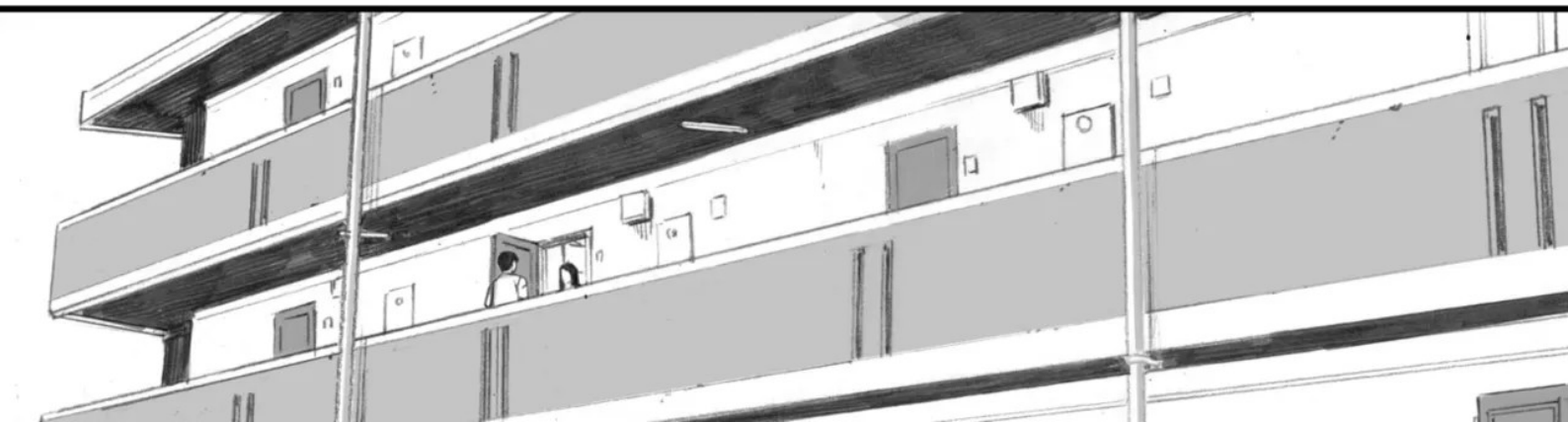
私のお兄ちゃんね

とっても
優しいんだよ













バン

じゃあな
なるべく早く
行くんやで

病院の場所は
さっき教えた
とおりやから

あ

もうヒロくん
また脱ぎ散らかし
て…





わかるだろ
今お前にいなく
なられたらさ…



なあ
あっち帰んのはいいけど
ちゃんと戻って来んだろ
うな？









他の男として
からって俺全
然気にしねえし

ズ
ゾ
ゾ
...

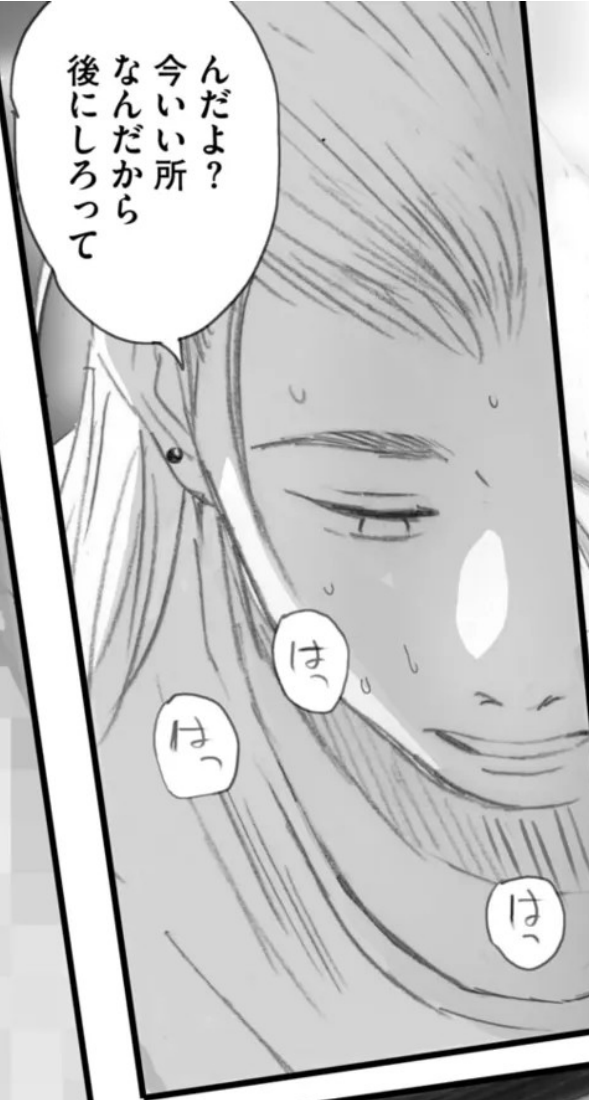
ん...

.....

ムカッ

ムカッ

ムカッ





でなんだよ
なんか言おうとして
なかったっけ？

.....

なんだよ
おかしい奴だな

オーディションとか
かったるいだろ？

実は他にもお前に
会いたって人が
何人かいてさ

そろそろ俺も
仕事増やしたい
なって思ってる
し

まあいいや
それよりさー











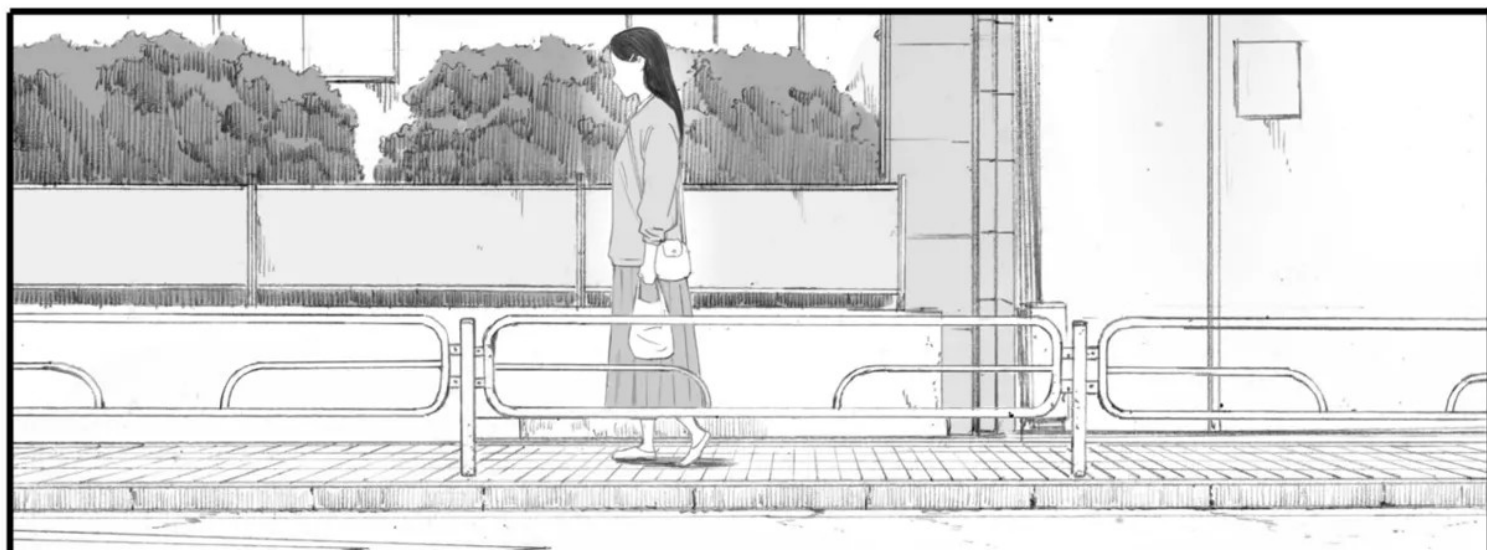
えこれから？
んーべつにいい
けど

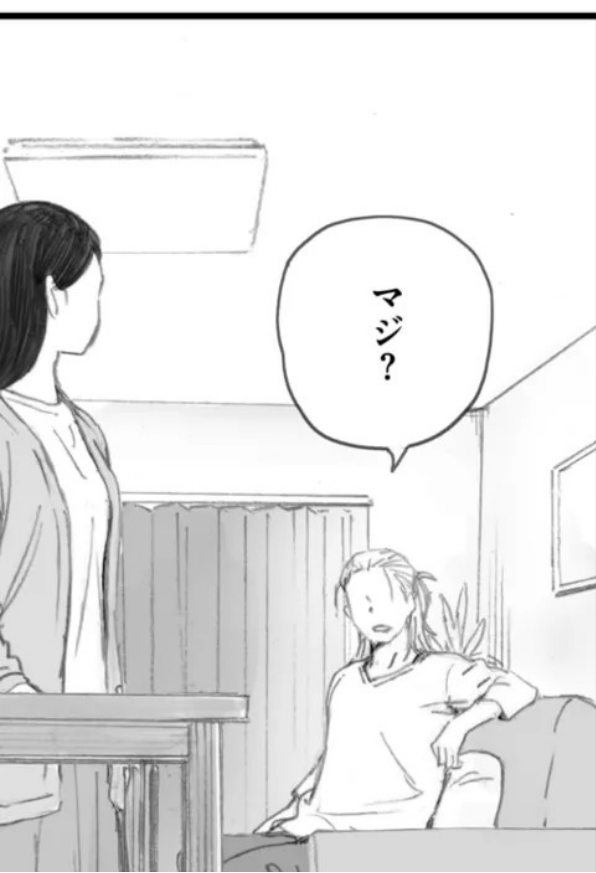
わかった
んじゃあとで

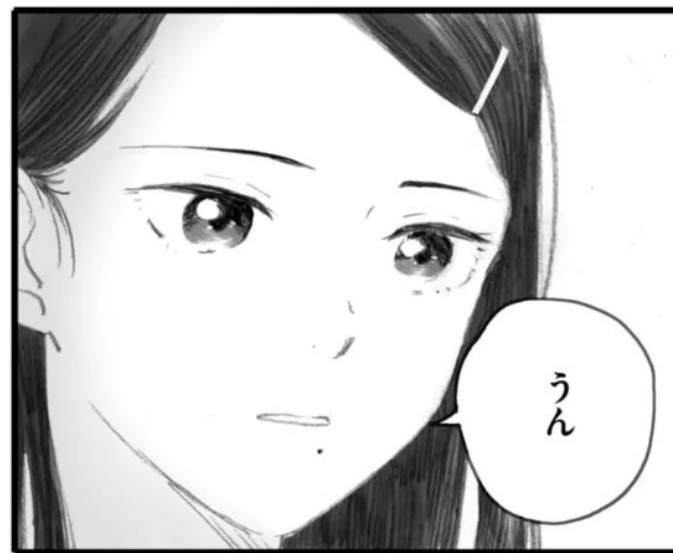
じゃあな

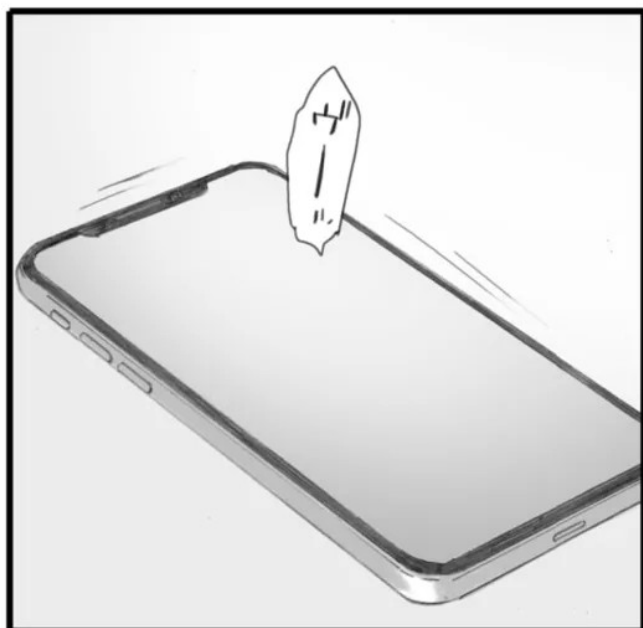
まつり
これからちょっと
ダチと飲みに行って
くるわ

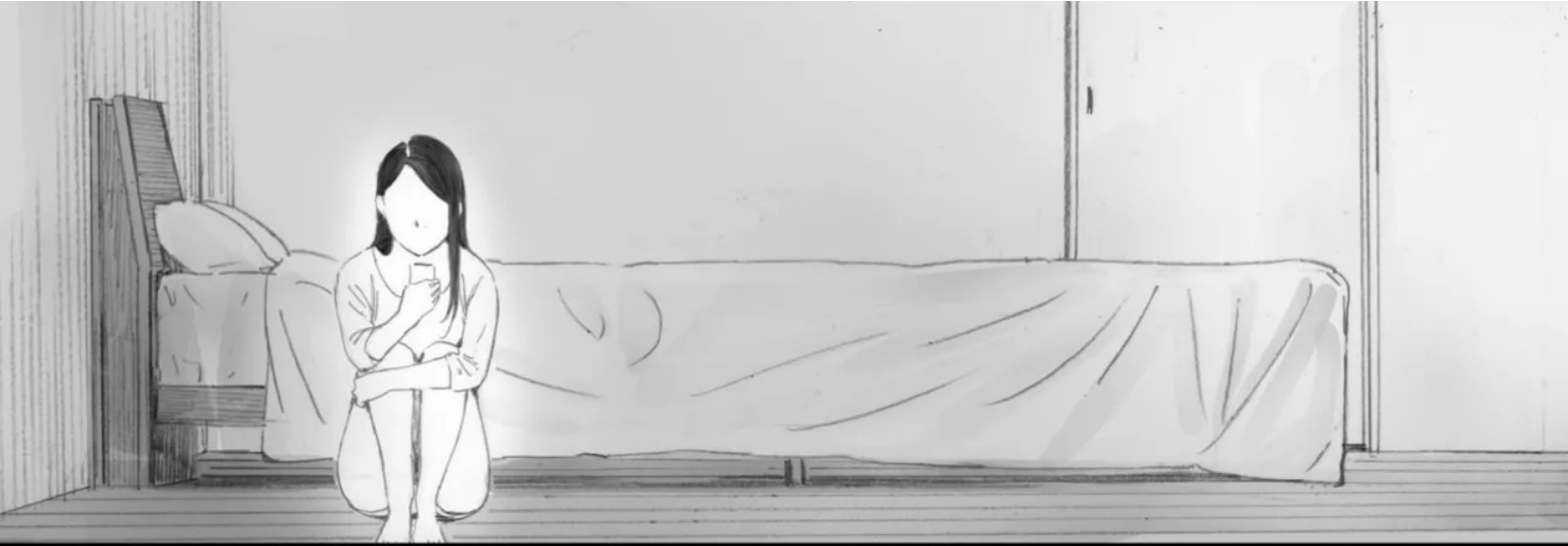
それからさっきの話
こっちで進めとくから















でも、ひとりじゃ抱えきれない。



誰にも言えない。

よっ！



お兄ちゃん

コスモス
秋桜が咲いた日に
Kosmos ga saita hi ni

荒井啓 ARAI KEI

最終話















だからお兄さん
からも――

違う！



で俺いま大事な
時期なんすよ

ほら俺らの仕事
ってスキヤンダル
御法度じゃ
ないですか



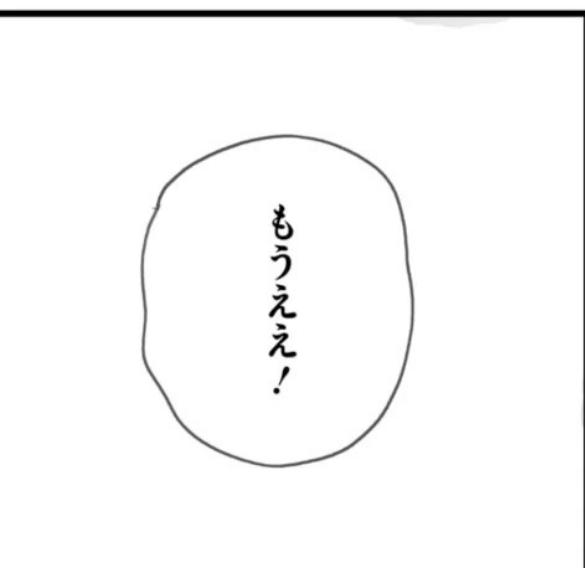
まっなが
松永さん……
糖尿病で……その

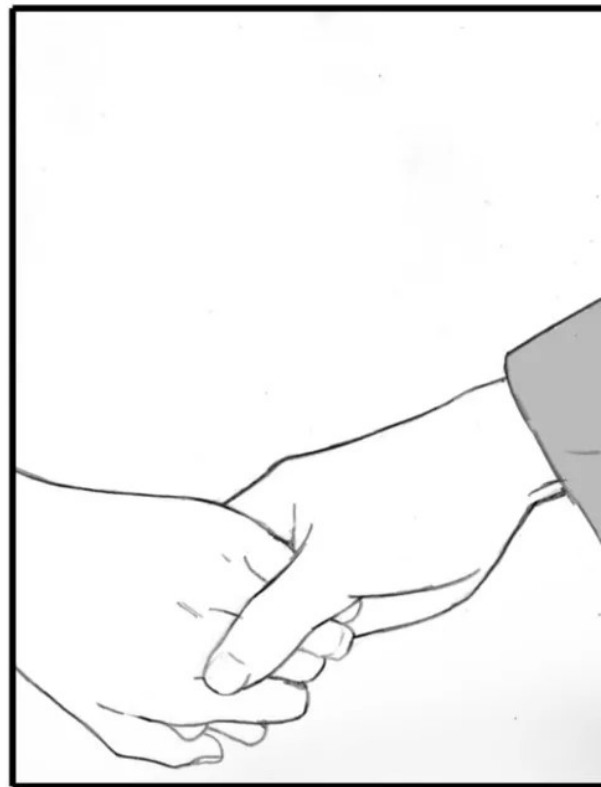
ほんとに違うの
いつも
食事して地元の事
とかヒロくんの
仕事の話とかして

ヒロくんのことも
才能あるから
成功させたいって
でも本人が聞いたら
甘えて調子に
乗るからって



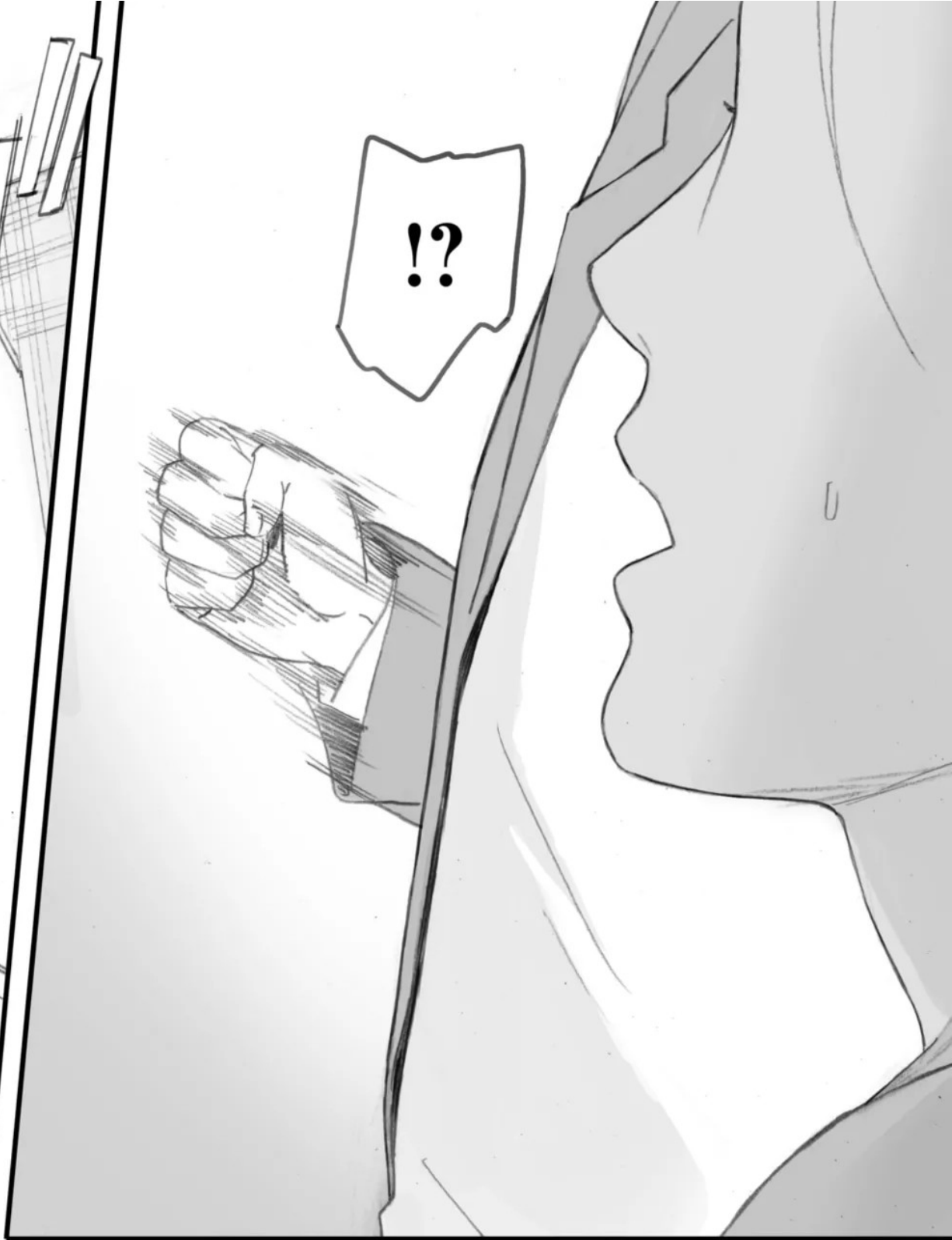
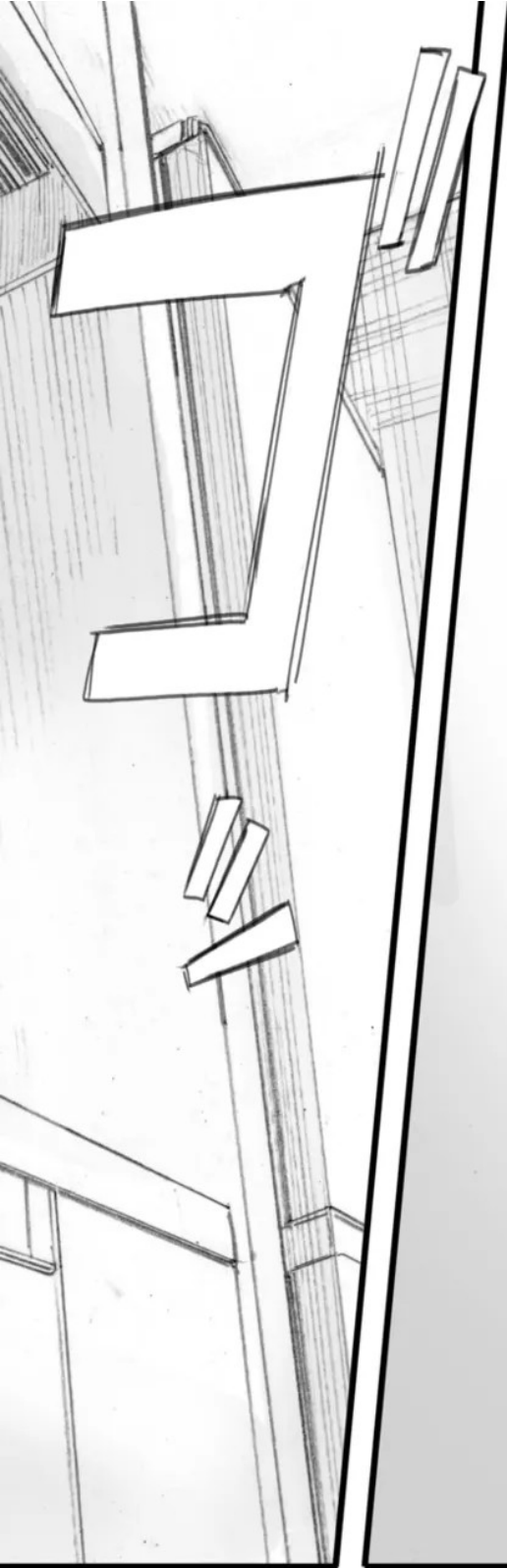
え？















…うん



…



まつり
お前も
もうええやろ
帰ろう

け
け
け



お兄ちゃん…
ヒロくんと
もう一度
話させて



でも
ヒロくんと
このままにして
行けないから



ヒロくんの気持ち
とつくに私から
離れてたの
知ってたの



今度はうやむやに
しないでちゃんと
話するから



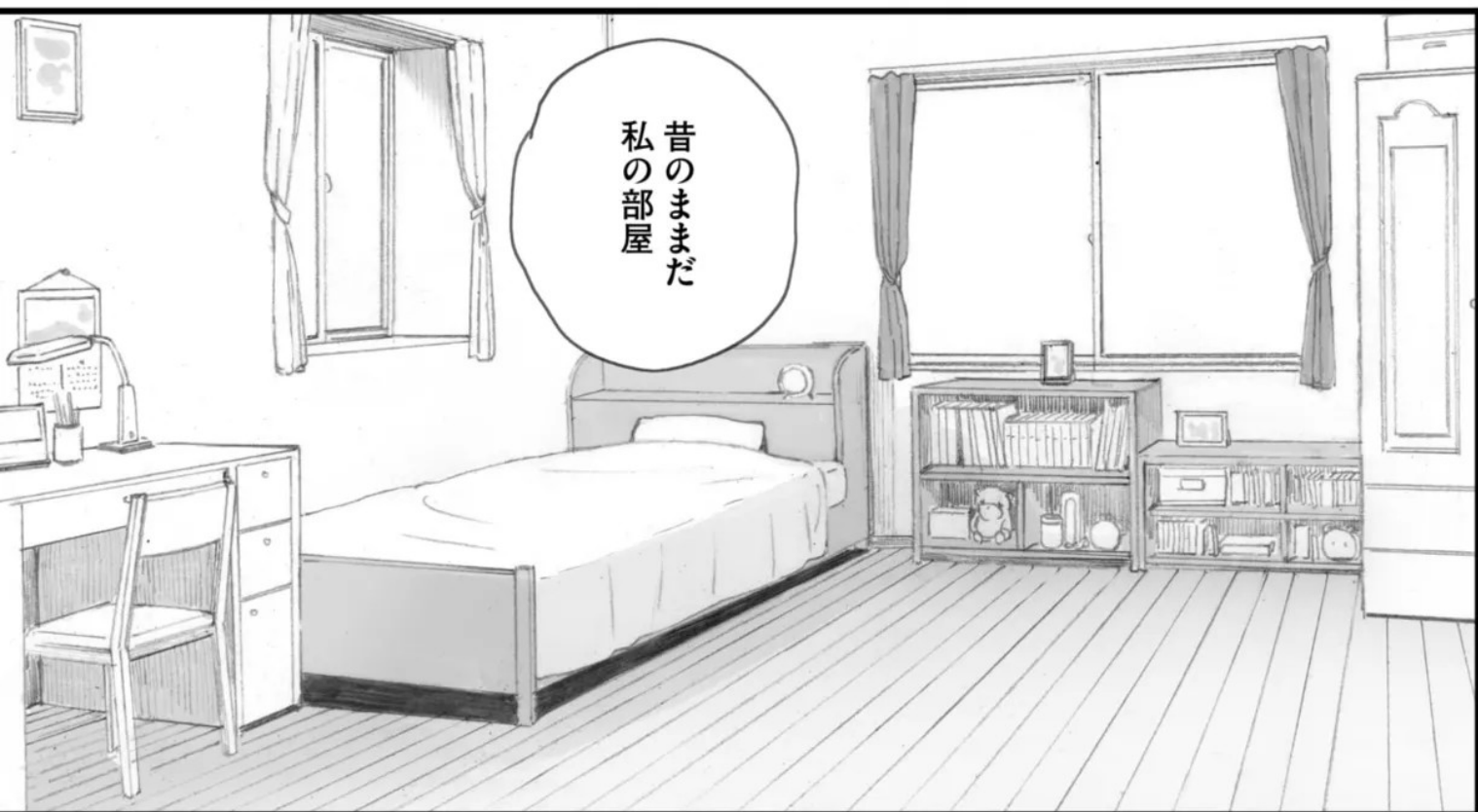
それも私が
無理やりヒロくんに
しがみついていたの



ごめんね
お兄ちゃんには
あんなひどいこと
言ったのに













無理せんで
ええよ



俺と一緒に
行かへんか?

三・人・で



まじり





そやけど
今は…

お前の気持ちを
裏切り続けて
しんどい思い
させて来たのは
俺の方や



ちゃうよ



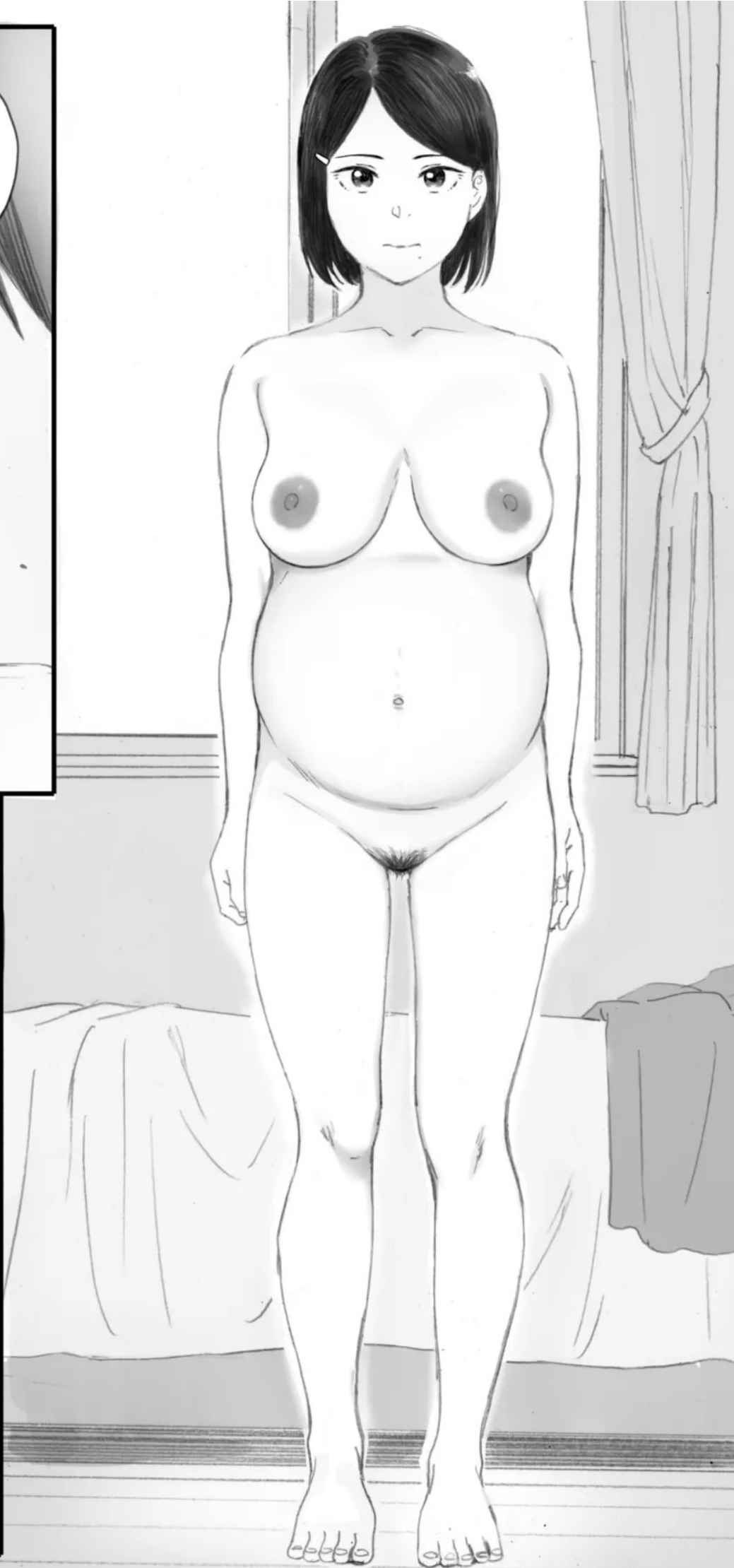
……
やっぱり優しいね
お兄ちゃんは



おい
まつり



?







兄貴として
お前を守るとか
そんな
かっこつけた言い訳
どうでも
よかったんや

俺は…



お兄ちゃん？



俺はまつりの事が
好きで好きで仕方
なかったんや











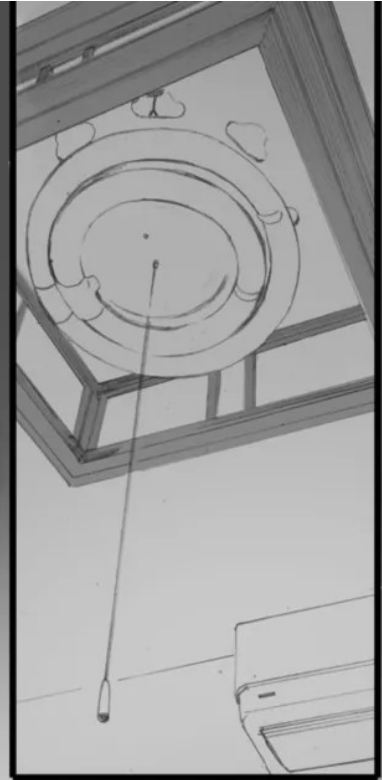


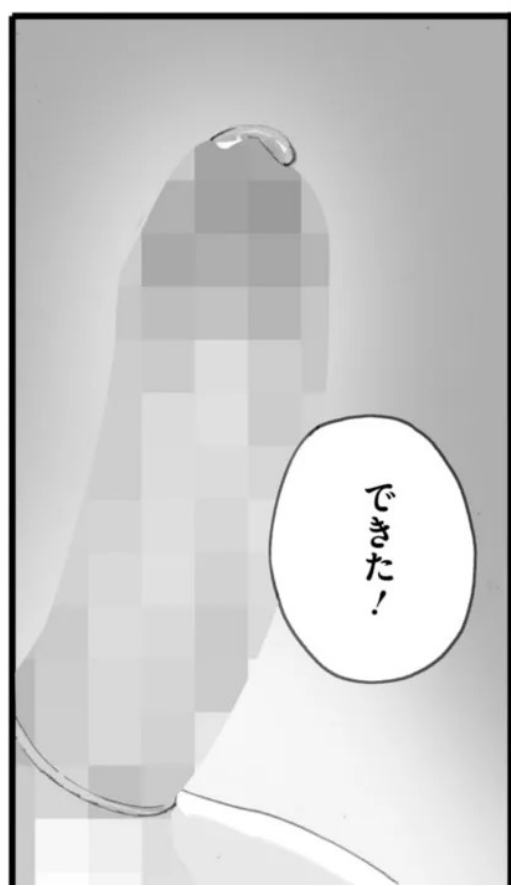




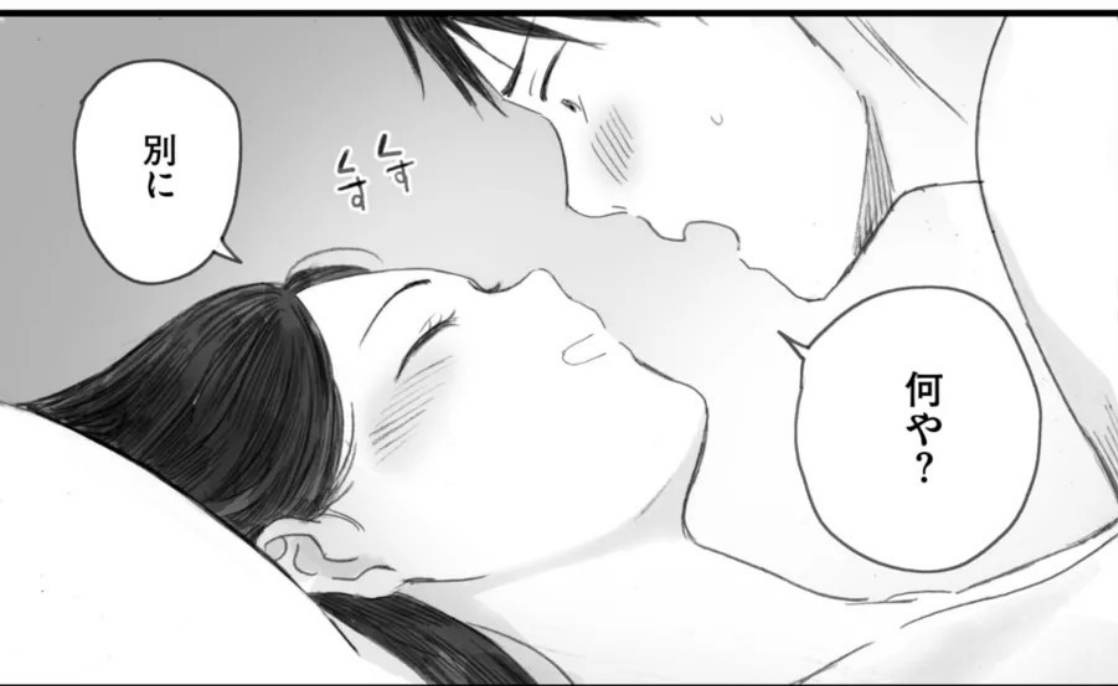














大丈夫

私とお兄ちゃんが
一緒になれたん
やもん！



…うん



まつり
お前も変わって
へんよ

ぎゅっ

へん！！

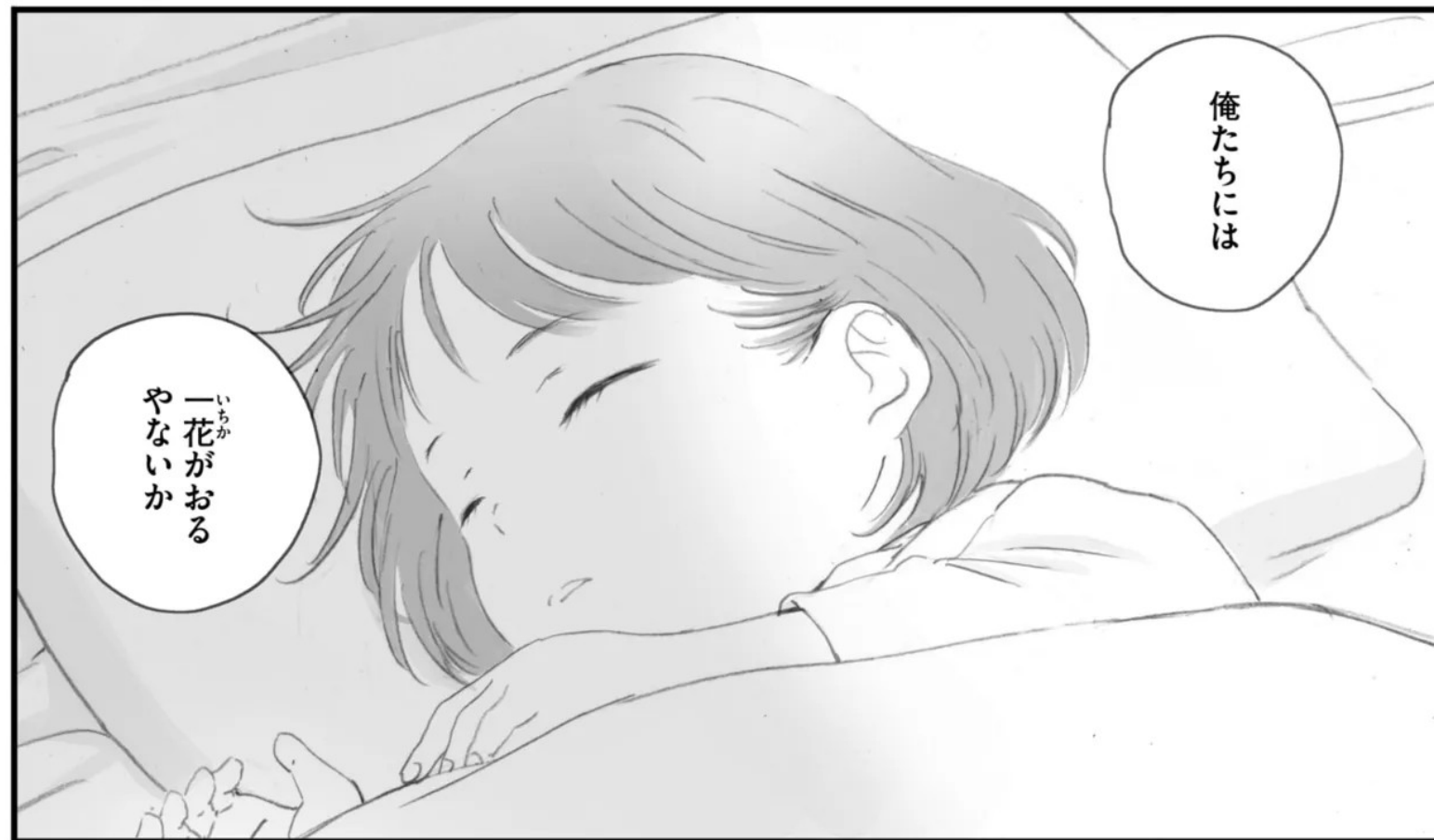




お兄ちゃんも
やっぱり
赤ちゃん欲しい
よね？



何言うてんねん



俺たちには

いちか
一花がおる
やないか



うん！





もともと兄妹
だった俺たちは

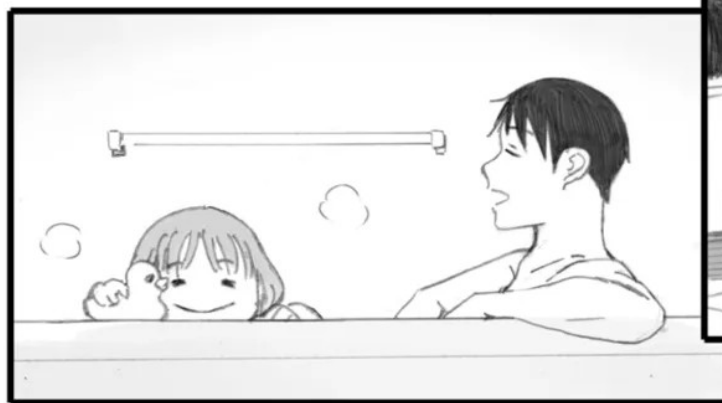
あの秋桜コスモスの咲いた
庭で再び出会って
恋をした



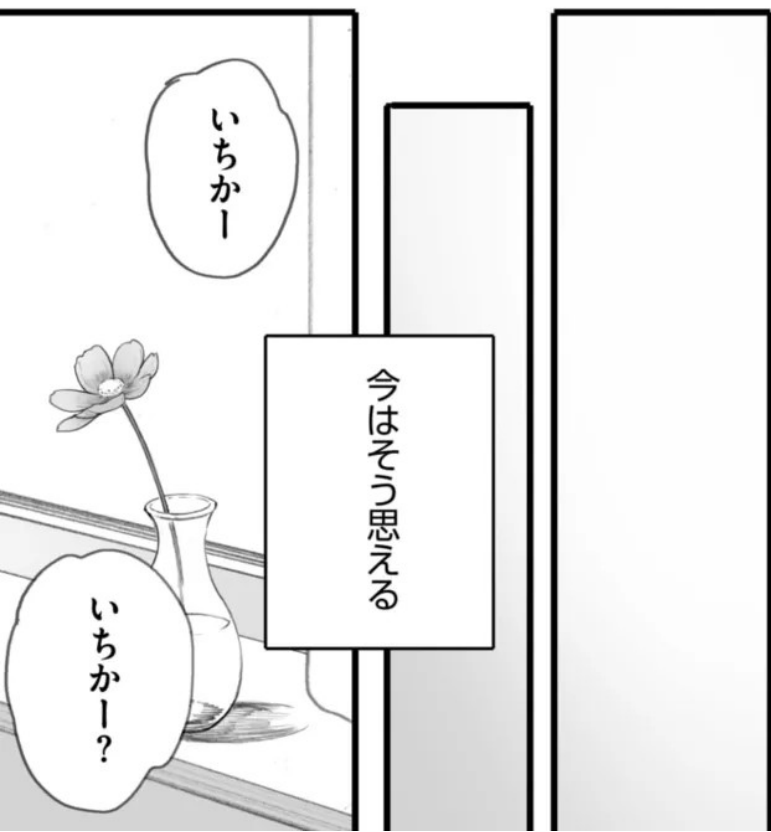
他の人を傷つけて
ここまで来た



それから俺たちは
たくさん傷ついて



それでも少しでも
間違っていたら
いちかは産まれて
こなかった



いちかー

今はそう思える

いちかー？



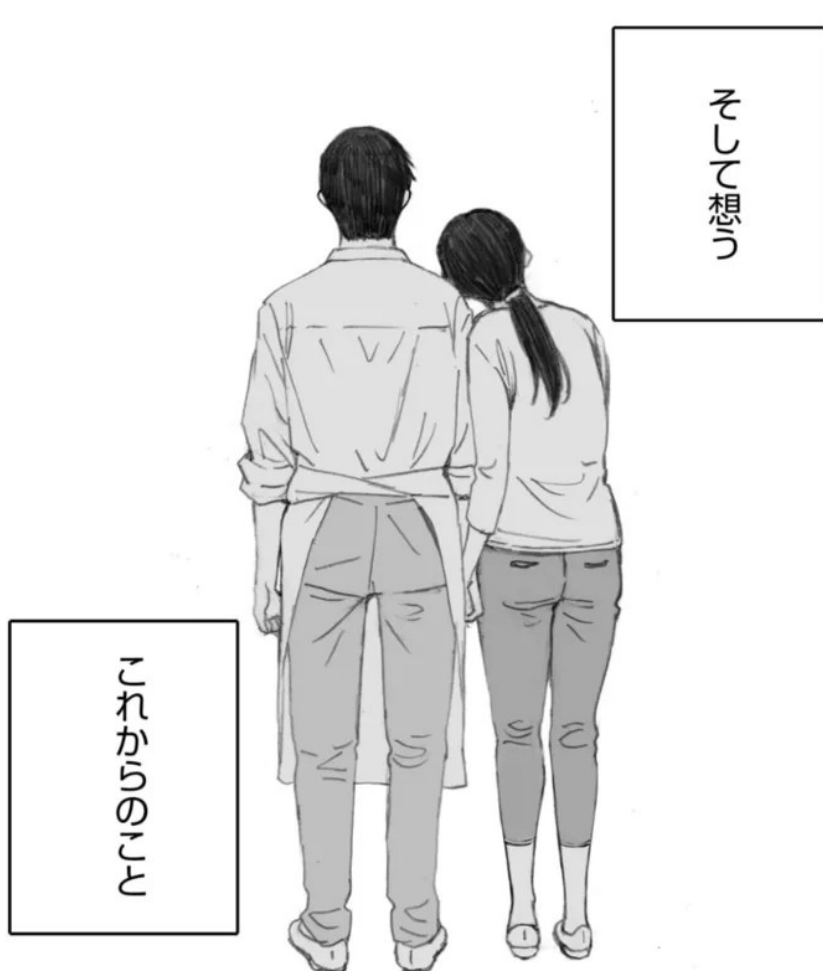




あれから月日は
経ったけれど



行ってきます！
おとうさん
おかあさん



そして想う

これからずっと



秋^{アキ}桜^{モス}の花が
咲く頃になると
思い出す
これまでのこと

